

にじいろ

2021年11月27日
日本語教室インタビュー
In 文化の家



男女共同参画って、国や文化による違いはあるのかな？



みなさんは「ジェンダー」という言葉を聞いたことがありますか？一般的に、「男らしさ」「女らしさ」という言葉で表される性別に関する社会的なイメージや期待・役割のことを「ジェンダー」と呼んでいます。

近年は、「ジェンダー」にとらわれず、自分らしく生きようという考えもあり、今後ますます耳にする言葉になると思います。

今回は「ジェンダー」というキーワードをもとに、性別にかかわる社会的状況について、日本と外国の違いや外国の人から見た日本などについて、長久手市国際交流協会が行っている日本語教室の学習者さんにインタビューをしました。



長久手市国際交流協会ホームページはこちらからご覧ください。

<インタビューを受けてくださった皆さん>

チャンさん
(マレーシア)



アレクさん
(オーストラリア)



シュウさん
(中国)



テプさん
(ベトナム)



質問 1. 日本では「男なんだから」、「女なんだから」と言われることがあります。あなたの育った環境ではそのように言われることはありますか？



年代や文化で、性別による差は異なると思います。私の母の時代では、性別による差がありました。父の方はパワーがあり、母は働いてはいましたが、我慢しているところも見ていました。母は父より弱い立場でした。



僕が幼い頃は、母によく言われましました。現在では、昔ほどは言われなくなっています。男女で同じ趣味を持っている人もいます。しかし、今の時代でも性別による差について考えなければいけないと考えます。



僕が小さい時はありました。男性は泣かないと言われました。女性は主に家事をしていました。しかし、女性も仕事をしていました。今は、男女同じようになってきて、男性で家事をしている人もいます。



僕が小さい頃は、「男なんだから泣くな」とか、「女なんだから大人しくしなさい」と言われました。性別で決めつけられていたので、性別による差はあったと思います。



質問 2. 日本では「男の子の遊び」や「女の子の遊び」と言われる遊びがありますが、あなたの育った地域ではそのような遊びはありますか？



私が幼い頃は、女の子に遊ぶチャンスがなかったです。男の子はバスケットボールなどで遊んでいましたが、女の子はおもちゃも持っていないし、母のお手伝いばかりでした。不公平に感じていました。



今は、男女に遊びの面で違いはありません。しかし、昔はありました。男の子はボールの遊びを主にしていた、女の子はなわとびをしていました。「男の子はこれ」とか、「女の子はこれ」と言われました。



僕の育った地域では、男女の遊びの違いは少なかったです。牛が多くいて、女の子も強かったです。都市では遊びの違いはあったかもしれませんが、僕の故郷はみんなで同じ遊びをしていました。ちょっと変わってたかも。



男の子の遊びや、女の子の遊びが決めつけられることはありました。僕は幼い時、自分で車を作って遊んでいました。しかし、女の子は小さい子の世話や、力の必要ないやさしい遊びをしていました。

質問 3. 日本で生活をしていて、性別による差を感じる時はありますか？



職場では、男性が私の話を聞いてくれない場面もあり、性別による差を感じることもあります。しかし、日本語教室では男女共に仲良く、平等に取り組んでいるので、とても良いです。時代で変化しますね。

日本のドラマを見ていて、女性が家事をするシーンが多いと感じました。反対に男性は働きに行くシーンが多いと思います。でも、昔と比べて男女平等になりつつあると思います。



今の日本でも、男女の違いはあると思います。小学生の男の子はけんかをして遊んだりしていますが、女の子は静かにしていたり、ママごとをすることが多いと思います。

日本は、ご飯を配達してくれるサービスもあるので、女性が料理をしなくても良いと思います。決められたことじゃないですからね。僕の育った地域では、いつも女性は料理をしなければいけないです。



質問 4. これから日本が性別に関係なく生きていくことができる社会になるためにはどうしていくとよいと思いますか？



もっと男女が交流することが大切であると思います。また、会話したり、遊んだりすることも大切であると思います。あと、女性がどんどん政治に参加するべきです。議員数も男女で半分半分为理想ですね。

子供たちにも男女同じように接することが大切であると思います。父と母は子どもたちの見本だし、態度は子どもたちに伝わります。料理など興味のあることから始めるのも良いと思います。



日本の性別による差は、オーストラリアよりも強いと思います。世界で男女平等の程度は様々ですが、男女平等には時間がかかると思います。僕は小さい頃から料理が好きで、家事もします。

国によって、文化が異なりますから、あまり日本について知らない僕は、日本の男女平等の問題について、考えは言えません…。国によって、それぞれ良さがあると思います。



インタビューを終えて

様々な視点からの意見をいただき、新たな発見が多くありました。中でも「国によってそれぞれの良さがあると思う」という意見から、それぞれの地域の服装や行事などの伝統文化は残しながらも、性別だけにとらわれず、一人ひとりが自分らしさを活かしながら活躍できる場所が増えていくと良いなと感じました。



インタビューにお答えいただいた皆さん、ありがとうございました。今回の記事をきっかけに、読んでくださった人たちが、少しでもジェンダーや男女共同参画について考えてくれたら、うれしいです。

紗英



実咲

地域によってどんな事情があるのか、地域の特色を考えると地域によって違うジェンダー意識が出てきました。これらを知ることで異文化を理解し、男女共同参画の礎のひとつになるのではないかと思います。

江莉奈

令和3年度男女共同参画 標語・川柳入賞作品

令和3年6月から9月にかけて、男女共同参画標語・川柳を募集しました。

146点の応募があり、審査の結果、次のとおり入賞作品が決定しました。

最優秀賞

大丈夫 あなたはあなた 私は私

北中学校 太田花菜

優秀賞

「女子っぽい」 言って欲しいな 「君らしい」

北中学校 有川琴葉

佳作

助け愛 男女は共に 認め愛

長久手中学校 手塚雅順

だれ決めた? 普通の基準って なんだろう?

長久手小学校 小寺恵太郎

助け合おう みんなの気持ちは グラデーション

南中学校 池村知春



相談窓口～ひとりで悩まず、相談してください～

どうしてよいのかわからないとき、身近に相談相手がいないとき、そんなときにご相談ください。

女性相談(長久手市子ども家庭課)

相談員 女性相談員 電話 0561-56-0633

相談日 原則第2・第4金曜日 10:00～15:30※要予約

女性相談員による相談(愛知県女性相談センター)

相談員 女性相談員 電話 052-962-2527

相談日 月～金 9:00～21:00 土・日 9:00～16:00

※祝日・年末年始は除く

長久手市家庭児童相談室(長久手市子ども家庭課内)

相談員 家庭相談員 電話 0561-63-9500

相談日 月～金 9:00～17:00

※祝日・年末年始は除く

男性 DV ホットライン(愛知県男性 DV 被害者相談事業)

相談員 男性相談員 電話 080-1555-3055

相談日 土 13:00～16:00

※第5土曜日・祝日・年末年始は除く

発行:長久手市くらし文化部たつせがある課

編集:愛知淑徳大学 人間情報学部 3年 北村紗英

福祉貢献学部 2年 松浦実咲

文学部 1年 石塚江莉奈

令和4年4月

〒480-1196 愛知県長久手市岩作城内 60 番地 1

電話 0561-56-0641 FAX 0561-63-2100 メール tatsuse@nagakute.aichi.jp